

五之三地区防災対策実態調査結果の報告

五之三地区の各家庭の防災対策の実態を把握し共有することが、地区の防災対策の基本となります。そこで、各家庭での災害への備えと災害時の行動予定、生活再建について調査しました。

調査時期は2017年12月です。全世帯にアンケート用紙を配布し年番が回収しました。

646世帯中、回答数485軒でした

複数回答及び無記入があり、合計は100パーセントになりません

1 お住まいの方の人数

平均 3.1 人

1人48軒、2人159軒、3人108軒、4人90軒、
5人42軒、6人28軒、7人4軒、8人4軒

2 世帯主の年齢

平均 62.2 歳

20歳代4軒、30歳代32軒、40歳代77軒、50歳代84軒、
60歳代113軒、70歳代114軒、80歳代53軒、90歳代4軒

3 調査票に記入した方の年齢

平均 59.7 歳

4 お住いの住宅の所有形態

○賃貸住宅 3.5%
○持家 94.8%

5 居住開始した時期

○昭和34年以前（伊勢湾台風以前） 15.3%

○昭和35年以降 81.0%

★伊勢湾台風では、五之三地区は3か月間水没していました

★伊勢湾台風後、約1m地盤沈下していますので、

今度浸水する場合は、伊勢湾台風当時よりも1m程度上まで水がきます

★現在、川平の道路はだいたい海拔-0.5mですので、道路で2m程度の浸水
本田、新田の道路はだいたい海拔-1.5mですので、道路で3m程度の浸水

6 住宅を建てた時期

○昭和56年5月以前 123軒 25.4% (363人)

○昭和56年6月～平成12年5月 129軒 26.6%

○平成12年6月以降 154軒 31.8%

★昭和56年以前の建物は大地震で倒壊する可能性が高いといわれています

★平成12年以前の建物は倒壊しなくても大地震で損傷する可能性が高い

7 住宅の点検と耐震化

○建築時から耐震性は高いと思う 174軒 35.9%

○耐震対策を実施した 41軒 8.5%

○耐震性がないと思う 215軒 44.3%

★弥富市で申し込めば、専門家による無料の耐震診断が受けられます。

★倒壊の原因で多いのは、屋根が重い瓦葺で、1階に壁が少ない場合です

★1階で就寝されている方が倒壊の犠牲になっています

- ★倒壊可能性が高い家屋では、1階で寝ないようにしましょう。
- ★水害時に2階に避難する場合もあるので、リフォームの際に1階を壁で補強し、キッチンやトイレを2階にすることによって、安全性が高まります
- ★五之三地区で、2分の1から4分の1の家屋が倒壊する可能性が想定され、倒壊家屋数として300軒から100軒が想定されます
生き埋めになる住民として700人から300人ぐらいが想定されます
- ★過去の災害統計から、人口の0.3%が死亡すると仮定すると五之三地区で約6人が、生き埋め等で死亡することが想定されます
- ★**検索**「木造住宅耐震診断等事業について」→弥富市のHPです



8 家具類の転倒防止

- 固定済み 7.0%
- だいたい固定 31.1%
- 固定していない 60.2%**
- ★就寝中に倒れてきたタンスで大きな被害がでています
- ★倒れた家具で、脱出経路をふさがれるリスクがあります
- ★窓ガラスや食器類などが割れてケガをすることがあります
枕元にスリッパを常備しましょう
- ★頭巾は中途半端、ヘルメットを備えましょう
- ★**検索**「転倒防止対策」→弥富市のHPです



9 用意しているペットボトル (2L) の数

- 平均 7.2 本、 **0本141軒**、1～3本101軒、～6本116軒
～12本74軒、13本以上53軒
- ★一人1日に3リットルの水分が必要だといわれています。
- ★災害直後にコンビニに走ってもありません
- ★避難所にも無いと考えてください
- ★安売りの水を使いながら回しておけば充分です
- ★飲んで空いたペットボトルは、寒の内の水道水を、空気が入らないように一杯に入れておけば、災害時の生活用水の備蓄として活用できます

10 用意してある非常食 (ローリングストック含む)

- 平均 2.2 日分 **0日192軒** 1日分79軒、2～3日分161軒、
～7日分46軒、10日分以上7軒
- ★高価な非常食でなくても、缶詰など、消費期限が長いものを、食べながら「計画的に家庭に在庫させる」ローリングストックが推奨されています
- ★**検索**「家庭用食料品備蓄ガイド」→農林水産省のHPです
- ★避難所にはほとんどありません 計画的に7日分を在庫しましょう



11 ポンプが止まると湛水することを知っていましたか

- 知っている 44.5%
- 知らなかった 52.4%**
- ★**検索**「日光川流域排水調整ルール」→大雨による河川のはん濫に備えて愛知県のHPです、
- ★大雨で日光川が氾濫しそうな時にポンプが停止されます



12 自宅が水害、津波で何メートル浸水するか、市のハザードマップなどで調べてありますか

○確認済み 32.0%

○わからない 64.9%

★**検索**「重ねるハザードマップ」

→国土交通省のHPで正確な高さが調べられます

★**検索**「動く高潮・洪水ハザードマップ」→国土交通省のHP



13 水害時にどこに緊急避難する予定ですか

○自宅や近所の2階など 276軒 828人 56.9%

○弥生小学校 88軒 316人 18.1%

○農村多目的センター 155軒 466人 32.0%

★農村多目的センターには荷之上からも避難者がくることが想定されます

14 津波時にどこに緊急避難する予定ですか

○自宅や近所の2階など 244軒 745人 50.3%

○市指定の津波高潮緊急時避難場所 224軒 711人 46.2%

○その他（記入） 8軒 62人 1.6%

★津波の水深が30センチ以上になると、

流されるので避難はできなくなります

★**検索**「津波・高潮緊急時避難場所」→弥富市のHPです



15 避難を決断する情報は何かから得る予定ですか

○防災行政無線放送 25.3%

○テレビ、ラジオなどマスコミ 57.9%

○スマホ、パソコン等 35.7%

★弥富市安全・防災メール 必須です

★**検索**「弥富市安全・防災メール」→弥富市のHPです

★同居家族がいれば最低1人は受信できるように

★同居家族で登録できない場合は、別居の子ども（市外でもよい）が登録し、緊急時には、避難情報など重要なことを、電話で連絡してもらう

★それもできない場合は、仲の良い友人に頼んで、災害時に（電話）連絡をもらう

★登録時に「配信情報」選択するとき、小規模の地震、気象の注意報など、頻繁におきるが、重要でないものは外しておくこと



16 大規模災害になった場合に長期に避難する場所

○弥生小学校 171軒 593人 35.3%

○農村多目的センター 194軒 550人 40.0%

○自宅避難 144軒 437人 29.7%

★農村多目的センターで寝泊まりできるは

一人当たり面積2㎡として90人程度

★**検索**「市指定避難所」→弥富市のHPです



17 避難所への移動の困難

○徒歩は困難 101軒 20.8%

○徒歩で可能 357軒 73.6%

18 避難所での滞在の問題点

○要支援者がいる 65軒 13.4%

○ペットがいる 125軒 25.8%

★10軒あたり1軒が支援を求めていることが想定されます

★[検索](#)「避難所 ペット」環境省のHPです



19 弥富市全域が水没した場合の水没区域以外の避難先

○親族、知人宅に避難する 196軒 40.4%

○行政が確保した避難先 236軒 48.7%

○自宅に留まり水上生活をする 50軒 10.3%

★広域避難の、受け入れ先、交通手段の確保については検討が始まったばかり

★頼れる親族等と仲良くしておいて、渋滞が始まる前の早めの自主避難が良作

20 もし親族、知人宅に避難する場合、それはどこですか 市町村名を記入 (215軒)

名古屋市 75軒、愛西市 15軒、四日市市 10軒、
桑名市 10軒、あま市 6軒、一宮市 5軒、稲沢市 4軒、
大垣市 3件、岐阜市 3件、東海市 2軒、
その他東海 3県 15軒、その他 21軒

21 弥富市全域が水没した場合の生活再建の場所

○たぶん弥富市に戻ると思う 183軒 37.7%

○わからない 256軒 52.8%

○たぶん弥富市に戻らないと思う 40軒 8.2%

★どこで生活再建するにしても、地震・自然災害保険・共済の加入をお勧めします

22 生活再建のための地震・自然災害保険・共済の加入

○建物・家財に加入済み 324軒 66.8%

○家財のみ加入 20軒 4.1%

○加入していない 124軒 25.6%

★地震の延焼による火災・津波・液状化による建物の傾き・水害など
自然災害は、通常の火災保険だけでは対応できません

★どんな古い建物でも、再度建築する価格の半額、用途は自由

★[検索](#)「保険・共済加入のすすめ」→内閣府防災情報のHPです



参考に 国土交通省 木曾川下流河川事務所の

「自分で考え自分の命を守る 防災テキスト」もご覧ください



五之三地区防災会のフェイスブックページを作りました 防
災の最新情報を更新していきますので、気軽に見てください

ご不明な点は 防災専門委員 佐藤仁志 (67-1889) までお問合せください。